

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	宇宙からひも解く新たな生命制御機構の統合的理解
領域代表者	古川 聡 （独立行政法人宇宙航空研究開発機構・有人宇宙ミッション本部・主幹開発員）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>宇宙開発は、我が国における重要な科学研究のひとつであり、無重力・閉鎖環境・宇宙線などの宇宙環境が生命に及ぼす影響を研究する本提案の妥当性は高い。また、単にこれらの影響を個別に研究するのみでなく、可塑性・不可逆性という観点から統合的に理解して新しい高次恒常性維持と適応機構に関する理論の構築を目指す点は、複合領域の新学術領域研究として相応しい。こうした研究成果を長期高齢化社会における健康長寿推進、ストレス社会における対処法の開発へとフィードバックできることも本研究領域の魅力のひとつであるため、研究期間内に各計画研究が目指す具体的な成果を明確にしつつ、領域が目標とする学理の構築が達成できるよう、有機的な融合研究の推進を期待する。</p> <p>一方で、総花的な研究とならないために、領域代表者と総括班を中心とした学理構築に向けての明確なストラテジーの下、新たな生命制御機構の統合的理解に取り組むことが必要である。</p>